

# 花さき山



タイトル文字: 滝平二郎

## 音読会

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 6月6日(火)

11:00~12:00

気軽に発声練習してみませんか?

大人向けの音読会です。

もちろんお子さんも参加できますよ☆

6月のテーマは、『百人一首』!

## ブックスタートクラブ

毎週水曜日は視聴覚室開放 day♪

☆幼児向けおはなし会

6月 7日、14日、28日 ⇒10:00~

6月 21日 ⇒11:00~



## 6月は紙芝居まつり♪

毎週土曜日に紙芝居のおはなし会を開催します。昔話からおばけ、食べ物のおはなしまでいろいろな物語が楽しめます!

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 6月3日、10日、17日、24日

11:00~11:30

※どなたでもご参加いただけます!お申込みなども不要です。

☆「やまびこ」さんのおはなし会☆

場所: 明野図書館 児童室

日時: 6月18日(日)

11:00~11:30

## 《6月の特集コーナー》

場所: 明野図書館 カウンター前「特集コーナー」

テーマは「ミステリー・ブック」

みなさんは本屋さんで、帯を見て本を選んだことはありますか?

6月の特集コーナーでは、タイトルも装丁も隠された本たちが並びます。

情報は帯のみ!

思わぬ本との出会いがあるかも?



## 6月は子供向け映画会

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 6月24日(土) 10:30~

内容: ・「ももたろう ほか」

(上映時間: 30分)

・紙芝居の読み聞かせ

お申込不要です。無料でご覧いただけます。

## 壁デコ!

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 6月25日(日)

11:00~12:00

一緒に折り紙を楽しもう!

申込み不要・無料です。

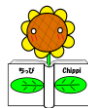
## 育児コンシェルジュ

### 7月よりスタート!

明野図書館では7月より毎週、

火曜・木曜 10:00~14:30

上記の時間、お母さんやお父さんが図書館でゆっくり本を選べるように、育児コンシェルジュがサポートします!簡単な子育て相談もできますよ♪



## 郷土史を学ぶ者としての川島地域活性化に向けた提案 —図書館を利用して郷土の歴史観光資源を考える—

羽賀 晃

先般、須藤茂市長より「筑西市の人口減少に歯止めを」と言う話を伺いました。

毎年、1,200人亡くなり、800人生まれる。その他の原因を含め千人の人口減が発生している。原因の全てではないが、市内により良い勤務先が無い事も一因としてある。積極的に企業誘致を行いたい。もう一つ、「住んで良かったと思える町づくり」を推進するとの提言がありました。郷土史を学ぶ者として、川島地区に限り、住んで良かった町づくりについて、日頃考えている事を以下に記しました。記憶に止めて頂ければ幸甚に存じます。

1. 川島消防署新庁舎地域内移転が決まりました。(29年度、安心都市づくり、用地取得予算)地域住民に愛され、自慢できる、最先端機能を取り入れた消防署が完成する事によって地域の安全、安心が確保され、中核病院とのより良い連携が可能となります。又、居住環境が改善され住んで良かったと思える地域風土が芽生え、強いては雇用の拡大も期待出来ると考えます。
2. 川島は鬼怒川と共に発展した地域ですから鬼怒川を最大限活用する事を提案します。  
今回、新たに出来る堤防を利用して、川島橋～中島橋を一周する(約10km)サイクリングロード、遊歩道を作り、一里塚を設け、地域住民の交流と健康促進に役立てませんか。川西側は堤防が整備され舗装されています。北に男体山を眺め、中島橋を渡り富士神社で休憩、小川地区は川に沿って遊歩道を整備します。小川河岸の風情を感じられる場所もあります。鬼怒緑地公園を通り、新設される堤防を歩きます。快晴の日には南西に富士山が望めます。川島河岸を描いた銅版画が水戸歴史館に展示されています。(水運から陸運への変遷)その銅版画を基にジオラマが作られ筏下りが再現されています。中島～川島橋間でのボートレース等も面白いのではないのでしょうか、下妻市では実施しています。
3. 「海の幸」を作った青木繁は川島で一子を授かっています。繁にとって川島での数カ月が生涯で一番充実した時だったようです。地域共通の認識として繁や「女方の人面土器」など後世に伝える記念碑が川島地区にあっても良いと思います。茨城国体では総合体育館が主会場です。JR最寄駅は川島です。川島をどの様に宣伝し、おもてなしが出来るのか、今から準備する必要があります。
4. 遊湯館の子供達への開放と活用。  
川島小、西中、校内は設備が整い立派な指導者の下、子供達は充実した学校生活を送っていると思います。しかし、家庭ではどうでしょうか。テレビゲームに興じ過ぎたり、友達同士の交流も少ないのではと危惧しています。そこで、遊湯館を無料か低額(100円)で解放したらと考えます。友達を誘いあって自転車で行けます。長期休み期間だけでも実施したらよいと思います。友達と楽しく一日を過ごせる場所を提供したらいかがでしょうか。

住んで良かったと思える町づくり(活性化)は言葉で言う程簡単ではありません。しかし私たち地域住民一人一人が何か行動を起こす事、1個のゴミを拾う事、ができれば、住んで良かった町づくりも実現可能であり、人口増もあながち夢で終わらないかも知れません。

(はが あきら / 郷土史を考える会会員 伊佐山在住)